
3 2. ESX 0E 00 01 06

単票用紙排出

コード

X'1B 7E 0E 00 01 06'

機能

プリンターに蓄えられているデータがすべて印刷され、続いて次の動作が行われます。

- 単票用紙モードの場合、用紙を排出します。
- 連続用紙モードの場合、連続用紙を次ページの先頭行位置（TOF）まで送ります。

印字位置がTOFにある場合、いずれの用紙モードでも無視されます。

3 3. ESX 0E 00 01 07

横幅縮小文字設定

コード

X'1B 7E 0E 00 01 07'

機能

このコマンド以降の半角文字は、横に縮小されて印刷されます。文字ピッチは、現在設定されている半角文字の文字ピッチにかかわらず 18 cpi になります。

3 4. ESX 0E 00 01 08

横幅縮小文字解除

コード

X'1B 7E 0E 00 01 08'

機能

ESX 0E 00 01 07 コードによる横幅縮小文字設定を解除します。このコマンドにより、半角文字の文字ピッチは元の文字ピッチに戻ります。

3 5. ESX 0E 00 01 09

文字拡大設定

コード

X'1B 7E 0E 00 01 09'

機能

このコマンド以降に印字される文字は、横幅が2倍になります。

3 6. ESX 0E 00 01 0A 文字拡大解除

コード

X'1B 7E 0E 00 01 0A'

機能

設定された文字拡大コードを解除します。

3 7. ESX 0E 00 01 0B 縦書きモード設定

コード

X'1B 7E 0E 00 01 0B'

機能

このコマンドを受け取った直後からすべての文字を縦書きにします。

3 8. ESX 0E 00 01 0C 縦書きモード解除

コード

X'1B 7E 0E 00 01 0C'

機能

このコマンドを受け取った直後から、すべての文字を横書きに戻します。

3 9. ESX 0E 00 01 0D 上つき文字指定

コード

X'1B 7E 0E 00 01 0D'

機能

このコマンドを受け取った直後からの半角文字は、上つき／下つき文字指定解除を受け取るか、下つき文字指定を受け取るまで上つき文字で印刷されます。

4 0. ESX 0E 00 01 0E 下つき文字指定

コード

X'1B 7E 0E 00 01 0E'

機能

このコマンドを受け取った直後からの半角文字は、上つき／下つき文字指定解除を受け取るか、上つき文字指定を受け取るまで下つき文字で印刷されます。

4 1. ESX 0E 00 01 0F

上つき／下つき文字指定解除

コード

X'1B 7E 0E 00 01 0F'

機能

このコマンドを受け取った直後から、上つき／下つき文字指定は解除されます。

4 2. ESX 0E 00 01 13

半行逆送り

コード

X'1B 7E 0E 00 01 13'

機能

印字バッファのデータをすべて印刷し、半行分用紙を逆送りして、以降のデータを印字します。

印字位置が先頭位置（TOF）に達すると無視されます。このコマンドは自動給紙機構（ASF）を使用している場合は、用紙詰まりの原因になることがありますので、できる限り使用しないでください。

用紙の逆送りは1ページの中で合計8.47mm（1／3インチ）を越えないようにしてください。

4 3. ESX 0E 00 01 14

半行送り

コード

X'1B 7E 0E 00 01 14'

機能

印字バッファのデータをすべて印字し、半行分用紙を送って、以降のデータを印刷します。印字位置がボトム・マージンに達すると改ページが行われます。

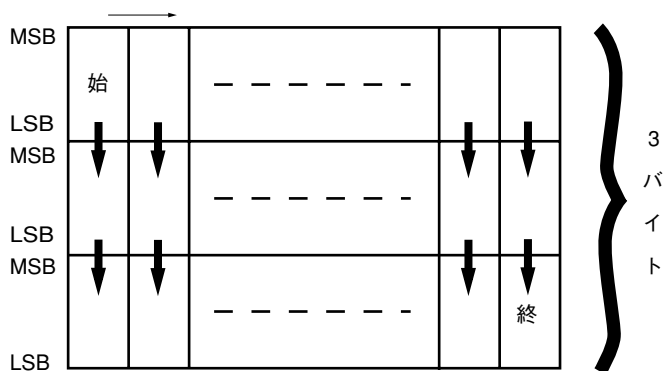
コード

X'1B 7E 0E 00 01 15'

機能

3 バイト転送モードを設定します。

電源スイッチを On (|) したときに、省略時のモードとしてこのモードが設定されます。転送されるデータ・バイトは次のとおりです。(MSB：最上位ビット、LSB：最下位ビット)



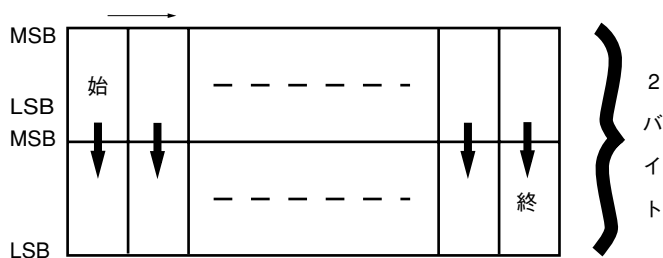
コード

X'1B 7E 0E 00 01 16'

機能

2 バイト転送モードを設定します。

電源スイッチを On (|) したときに、省略時のモードとして3 バイト転送モードが設定されます。転送されるデータ・バイトは次のとおりです。(MSB：最上位ビット、LSB：最下位ビット)



4 6. ESX 0E 00 01 17

強調印字設定

コード

X'1B 7E 0E 00 01 17'

機能

このコマンドを受け取った直後から、すべての文字を強調して（横方向に1ビット分ずらして重ねる）印字します。

4 7. ESX 0E 00 01 18

強調印字解除

コード

X'1B 7E 0E 00 01 18'

機能

このコマンドにより強調印字モードが解除されます。

4 8. ESX 0E 00 01 19

二重印字設定

コード

X'1B 7E 0E 00 01 19'

機能

このコマンドを受け取ると印字バッファーにあるデータをすべて印字し、その後すべての文字とイメージを二重に印字します。

4 9. ESX 0E 00 01 1A

二重印字解除

コード

X'1B 7E 0E 00 01 1A'

機能

このコマンドを受け取ると印字バッファーにあるデータをすべて印字し、二重印字モードが解除されます。

コード

X'1B 7E 11 00 01 n'

機能

このコマンドにより、下線の設定、解除を行います。
設定、解除はnにより次のように指定することができます。

n = B'0000 00n1n0'

n0 1：下線開始

0：下線終了

n1 1：ブランクをスキップする。

0：ブランクをスキップしない。

このコマンドにより、印刷できる下線の本数は1行当たり最大256本です。

コード

X'1B 7E 13 n1 n2 c1 c2 c3 (c4) '

機能

重ね打ちをしたい半角文字または全角文字を指定します。このコマンドにより指定された半角文字または全角文字が、これ以後の文字に重ね打ちされます。解除が指定される(c1のビット0を0にする)か、新たに重ね打ち設定が行われた場合は、以前に指定された文字の重ね打ちは終了します。n1 n2 c1 c2 c3 (c4)の指定の方法は以下のとおりです。

半角文字の場合

n1 = X'00', n2 = X'03'

c1：重ね打ちフラグ

ビット0

1：重ね打ちモード設定

0：重ね打ちモード解除

ビット1

1：スペース文字には重ねて打たない

0：スペース文字にも重ねて打つ

ビット2～7

定義されていません。これらのビットは無視されます。

c2：未定義のバイトです、c2は無視されます。

c3：DOSの内部1バイト・コードを指定します。

注意) c4は指定しないでください。

全角文字の場合

n1 = X'00', n2 = X'04'

c1: 半角文字の場合と同様

c2: 半角文字の場合と同様

c3: DOS の内部 2 バイト・コードの上位 1 バイトを指定します。

c4: DOS の内部 2 バイト・コードの下位 1 バイトを指定します。

注意) 重ね打ちモードの解除のコマンドは以下ようになります。

X'1B 7E 13 00 01 00'

重ね打ち文字はフォント・スタイル指定、横幅縮小文字指定、または上つき/下つき文字指定が行われると、その指定に従い変更されます。

5 2. ESX 16 n1 n2 c0 c1 ... cn

罫線印刷

コード

X'1B 7E 16 n1 n2 c0 c1 ... cn'

機能

1 行分の縦横の罫線を指定します。

その行の印字データを送る前にこのコマンドを送ってください。

パラメーターの指定は次のとおりです。

n1、n2 : c0 ~ cn のバイト数

c0 : 罫線情報のタイプを指定します。
X'01' または X'02'

c1 ... cn : 罫線情報を半角単位で次のように指定します。

● タイプ 1 の場合

ビット 7	6	5	4	3	2	1	0	
	←横罫線→					←縦罫線→		

(文字ボックスの上端) (文字ボックスの左端)

● 罫線の種類の指定

ビット (7654)

ビット (3210)

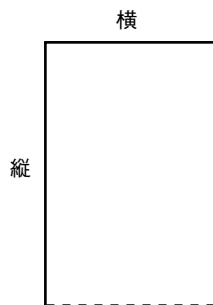
0000: 罫線無し

0001: 実線

0010: 太い実線

0011: 点線

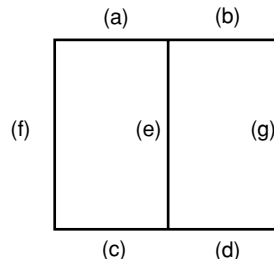
x1xx: 予約



● タイプ 2 の場合

罫線の種類は実線のみで罫線の印字位置を指定します。

- ビット 0：上部罫線 (左) (a)
- ビット 1：上部罫線 (右) (b)
- ビット 2：下部罫線 (左) (c)
- ビット 3：下部罫線 (右) (d)
- ビット 4：中央罫線 (e)
- ビット 5：左罫線 (f)
- ビット 6：右罫線 (g)



- 右マージンを越えて送られた罫線は無視されます。
- 罫線は文字ではないので文字装飾に影響されませんが、二重印字が設定されているときは二重に印字されます。二重印字は行の途中ですぐに設定/解除されるので、注意が必要です。
- 7.5 lpi より狭い場合、および半角で 15 cpi より狭い文字間隔のとき、罫線は印字されません。ただし、横幅縮小文字が指定されているときは、行間が 7.5 lpi より狭い場合を除き、罫線は印刷されます。
- 受信中でこのコマンドより先に印字データ (半/全角スペース、タブ以外) があるとそのコマンドは無視されます。
- 同一行で 2 回以上このコマンドを受信した場合、2 回目以降のコマンドは無視されます。

5 3 . ESX 18 n1 n2 ht1 ht2 ... htn

水平タブ設定

コード

X'1B 7E 18 n1 n2 ht1 ht2 ... htn'

機能

水平タブ位置を設定します。n1 n2 で水平タブの個数を示し、ht1 ht2 ... htn (各 1 バイト) でタブ位置を半角文字単位の桁数で指定します。タブ位置は昇順に指定し、昇順がくずれた場合はくずれる前までのタブ位置が設定されます。

タブ位置は現在の文字ピッチで設定されます。

設定できる最大のタブは 28 個までです。28 個を越えて設定した場合は、水平タブ設定は無視されます。

n1 n2 = X'00 01'、ht1 = X'00' の場合は、初期値のタブ位置 (9 桁目から 8 桁ごと) にセットされます。また、n1 n2 = 0 の場合、水平タブはクリアされます。

5 4. ESX 19 n1 n2 vt1 vt2 ... vtn 垂直タブ設定

コード

X'1B 7E 19 n1 n2 vt1 vt2 ... vtn'

機能

垂直タブ位置を設定します。n1 n2 で垂直タブの個数を示し、vt1 vt2 ... vtn (各1バイト) でタブ位置を行単位の桁数で指定します。タブ位置は昇順に指定し、昇順がくずれた場合は、くずれる前までのタブ位置が設定されます。

タブ位置は現在の行ピッチで設定されます。

設定できる最大のタブは64個までです。64個を越えて設定した場合は、垂直タブ設定は無視されます。

n1 n2 = 0 の場合垂直タブはクリアされます。

単票用紙を使用した場合、実際の単票用紙の長さを越える位置に垂直タブを使用すると、フォーマットがくずれる場合があります。垂直タブ設定は実際に使用する単票用紙の長さに収めてください。

5 5. ESX 1A 00 02 lm rm 左右マージンの設定

コード

X'1B 7E 1A 00 02 lm rm'

機能

lm rm は、1バイトではそれぞれ左マージン、右マージンの位置を印刷可能領域の最左端からの半角文字単位の桁数で指定します。

右マージンと左マージンの間が12.7 mm (0.5 インチ / 90 ドット列) よりも少ない指定が行われた場合、rm の指定が右端 (8 インチ、13.2 インチまたは13.6 インチ) を越えた場合、および lm を 0 または rm を 0 に指定した場合は無視されます。

5 6. ESX 1B 00 01 n ミシン目スキップの設定

コード

X'1B 7E 1B 00 01 n'

機能

このコマンドは、ページの最終行から次ページの先頭行 (TOF) まで n (1バイトの16進数) で指定された行数だけスキップして、印字位置を動かす機能を設定します。

n = 0 の場合およびページ長設定コマンド、初期化設定のコマンドを受信すると、ミシン目スキップは初期値の状態に戻ります。

ミシン目スキップを指定した行数とページ長の差が12.7 mm (0.5 インチ) よりも少ない場合は無視されます。

初期値設定機能においてミシン目スキップを指定すると、12.7 mm (0.5 インチ) にスキップ量が設定されます。

注意) このコマンドで指定されたスキップ数がミシン目位置からTOFまでの長さより小さいと、ミシン目上に印刷されるので注意してください。

5 7. ESX 1C 00 02 n m

水平方向位置移動

コード

X'1B 7E 1C 00 02 n m'

機能

水平方向に現在の半角文字ピッチに応じて、半角文字単位で位置を移動します。横幅縮小文字設定が行われているときは 18 cpi で移動します。n、m の値は各バイトで以下のように指定してください。

n = 00 : 左マージンからの絶対位置移動 [右マージンを越える量をセットすると無視する]

n = 01 : 現在位置からの相対位置移動 (右方向) [右マージンを越える量をセットすると次の行に打つ]

n = 02 : 現在位置からの相対位置移動 (左方向) [左マージンを越える量をセットすると左端で止まる]

- 注意) 1. n に 00, 01, 02 以外の数値を設定するとこのコマンドは無視されます。m は移動する文字数を設定してください。
2. このコマンドによる移動は文字の拡大/縮小の影響は受けません。

5 8. ESX 1D 00 02 n m

垂直方向位置移動

コード

X'1B 7E 1D 00 02 n m'

機能

印字バッファにあるデータをすべて印字し、垂直方向に現在の行ピッチに応じて行単位で位置を移動します。

n、m の値は各バイトで以下のように指定してください。

n = 01 : 現在位置からの相対位置移動 (下方向)

- 注意) n に 01 以外の数値を設定するとこのコマンドは無視されます。m は移動する行数を設定してください。

5 9. ESX 1E 00 02 n1 n2

文字ピッチの設定 (1 / 1440 インチ単位)

コード

X'1B 7E 1E 00 02 n1 n2'

機能

全角文字ピッチを 1 / 1440 インチ単位で設定します。n1 n2 の値は、7.5 cpi (n1 n2 = X'00 C0') から 5 cpi (n1 n2 = X'01 20') ままで有効です。また、n1 n2 の値は、偶数を指定してください。奇数を指定すると偶数に丸められます。

コード

X'1B 7E 1F 00 02 n1 n2'

機能

行ピッチを 1 / 1440 インチ単位で設定します。n1 n2 の値は、120 lpi (n1 n2 = X'00 0C') から 1 lpi (n1 n2 = X'02 D0') までが有効です。また、n1 n2 の値は、1 2 の倍数を指定してください。それ以外を指定すると 1 2 の倍数に丸められます。

コード

X'1B 7E 20 00 03 n1 n2 02'

機能

以後の文字の大きさを、n1 n2 の値に応じて変化させます。n1 n2 の値は以下のよう
に設定してください。

n1	n2	文字の大きさ (横×縦)
X'08'	X'08'	1 / 2 × 1 / 2
X'10'	X'10'	1 × 1
X'10'	X'20'	1 × 2
X'20'	X'10'	2 × 1
X'20'	X'20'	2 × 2

上記以外の値を指定した場合は、このコマンドは無視されます。

コード

X'1B 7E 81 LEN n1 n2 n3 c1 c2 ... cn'

機能

指定された外字文字コードに対応する文字パターンをロードします。以降の外字文字コードに対してロードしたフォント・パターンが印刷されます。ロードできる外字は1文字だけです。

LEN (2バイト): 可変

n1 (2バイト): 外字エリア文字コード (範囲: X'F0 40' ~ X'F9 FC')

n2 (1バイト): FLAG

ビット0: イメージ方向

1... I軸方向 (ラスター・パターン)

0... B軸方向 (ワイヤー・ドット・パターン)

ビット1: タイプ

1... 全角 (文字幅=文字高さ)

0... 半角 (文字幅=文字高さ/2)

ビット2~7: 予約済み

n3 (1バイト): サイズ (ロードするフォントの高さのドット数)

X'18' = 24ドットに設定してください。

c1 c2 ... cn: ロードするイメージ・データ

データのバイト長さは、以下の式で表されます。

	I 軸方向	B 軸方向
半角	$\text{INT}((n3 / 2 + 7) / 8) * n3$	$\text{INT}((n3 + 7) / 8) * n3 / 2$
全角	$\text{INT}((n3 + 7) / 8) * n3$	$\text{INT}((n3 + 7) / 8) * n3$

OS/2 の \$PRN24E では、このコマンドが使用できない場合があります。

コード

X'1C'

機能

このコマンドは ESC % 1 n1 n2 または ESC % 2 n1 n2 コードの代わりに使いますが、イメージ・データを印刷する場合はできるだけ ESC % 1 または ESC % 2 コードを使用してください。このコマンドを使用する前に、すでに ESC % 1 または ESC % 2 コードで有効な n1、n2 が指定されている必要があります、このときに参照される n1、n2 の値は最も新しく指定された n1、n2 の値です。このコマンドに続いて送られるデータ・バイト数は、すでに指定されている n1、n2 の値と矛盾しないようにしてください。